

中高生作文コンテスト

大地に降った雨は、一部は地中にしみ込んで地下水や湧き水となり、残りは川を通して最後は海へ流れます。その途中や海において蒸発した水が雲となり、再び雨が降り注ぎます。この水の流れを「水循環」と呼びます。この水循環のおかげで、私たちは何度も繰り返して「雨」から「水」を得ることができます。

水は、私たちにとってなくてはならないものです。

しかし、私たちが水循環を大きく変えてしまっています。どうすれば水循環を良くすることができるか？

また、どう雨水と付き合っていくべきか？あるいは、みなさんの雨水への想いなどについて、作文を募集します。

作品は、
原稿用紙4枚

応募資格は、
中学生・高校生

テーマ：
みんなで考えよう！
水循環

最優秀賞	iPad	1名
優秀賞	電子辞書	1名
奨励賞	図書カード	3名
特別賞(環境新聞社賞)	デジタルカメラ	1名
特別賞(協賛企業賞)	おたのしみ	若干名

締切延長
平成23年1月17日(月)

主催：社団法人 雨水貯留浸透技術協会 <http://www.arsit.or.jp>
問合せ：社団法人 雨水貯留浸透技術協会 総務部 TEL:03-5275-9591 E-mail:s-ohtake@arsit.or.jp
後援：国土交通省、環境新聞社、雨水ネットワーク会議
協賛：財団法人 建設物価調査会、雨水貯留浸透技術協会会員企業

応募要項は裏面にあります。

(応募要項)

「みんなで考えよう！水循環」中高生作文コンテスト

主催 社団法人 雨水貯留浸透技術協会
後援 国土交通省、環境新聞社
協賛 財団法人 建設物価調査会
協会会員企業

主 旨 大地に降った雨は、一部は地中にしみ込んで地下水や湧き水となり、残りは川を通して最後は海へ流れます。その途中や海において蒸発した水が雲となり、再び雨が降り注ぎます。この水の流れを「水循環」と呼びます。この水循環のおかげで、私たちは何度も繰り返して「雨」から「水」を得ることができます。水は、私たちにとってなくてはならないものです。

しかし、都市化が進み地表が舗装されると、雨水が地中にしみ込むことなく一気に河川に流れ込みます。このため、都市型の洪水が起こる反面、普段は河川の流量が少なく水質が悪化し、地下水も枯れるなどの問題が生じます。街に住む私たちがこのように水循環を大きく変えてしまっています。そこで、「みんなで考えよう！水循環」と題して、どうすれば水循環を良くすることができるか？ また、どう雨水と付き合っていくべきか？ あるいは、みなさんの雨水への思いなどについて、作文を募集します。

次代を担う中高生の柔軟な発想力、若い感性、自由な意見を大いに期待していますので、奮ってご応募ください。

応募資格 中学校・高等学校等に在籍する生徒・学生であること

テ ー マ 『みんなで考えよう！水循環』

作成要領 400字詰め原稿用紙4枚以内で日本語により表記された個人作品に限ります。参考図書や新聞などの文献から引用した場合は、出典を明記してください。

応募原稿は返却いたしません。縦書きで1枚目の1行目に題名、2行目に所属の学校名及び所在地（例えば市立〇〇中学校、△△県□□市）、3行目に学年、氏名（ふりがな）を記入してください。

手書きでの応募を基本としますが、ワープロでの応募の場合は「縦書き」、「一行20字」の設定での出力のみ受け付けます。

募集期間 平成23年1月17日まで（消印有効）

審査及び入賞発表 当協会の「水循環 貯留と浸透」編集委員会メンバーによる審査を行い、平成23年1月（予定）に入賞者に賞状・副賞を送付します。また当協会のホームページ、平成23年3月発行予定の「水循環 貯留と浸透」Vol.80及び環境新聞社紙上で入賞者の氏名、学校名、学年、作品を公表します。

賞	最優秀賞	賞状・副賞（iPad）	1名
	優秀賞	賞状・副賞（電子辞書）	1名
	奨励賞	賞状・副賞（図書カード）	3名
	特別賞	賞状・副賞（未定）	若干名

問合せ及び送り先 〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-7-1 半蔵門村山ビル
社団法人 雨水貯留浸透技術協会 総務部「中高生作文コンテスト」係
TEL 03-5275-9591 FAX03-5275-9594 E-mail s-ohtake@arsit.or.jp

個人情報の取扱 本コンテストの応募作文に記載の個人情報は、本コンテストの運営に必要な範囲で利用します。応募者の同意なく、利用目的を超えて利用することはありません。